

えいせい

2011年度 患者・利用者サービス向上のため 予算・人員要求主管部、局交渉始まる

福祉保健局との交渉での発言、職場の切実な声・職場実態を訴え

支部では、在宅支援も考え、多摩療育園との統合や外来機能を整備し総合療育センターとすべきであると考えていますが、局の考えをうかがいた

ず、どのよう

はじめに、「府中療育センター」と「北療城北分園」の建て替えについてです。基本構想が発表されましたが、改築の場所はつきりせず、現在の療育センターの機能をそのままという内容でした。

府中療育センターの建て替えは、多摩療育園との統合で外来機能を整備し、総合療育センター機能を持ったものにするべきです。

PFI建設は反対

(書記次長 石井ツタ代)



発言する石井書記次長

次に「北療城北分園」についてです。来年度、仮設に移り、その後、新設された施設に再度引越す予定です。重症度の高い利用者は環境の変化にも敏感です。2回の引越しにも不安がありますが、その時、通園・通所の定員が大きく変わることにたいへん不安を持っています。職員配置や定員の増減の方法など早期にきめ細かく

いと思います。

仮設でも新築でも 利用者・職員の声を 聞いてほしい

まず、「府中療育センター」

安定した医療スタッフの確保は多摩療・城北・城南など小

府中療育センターは、重症の患者受け入れのため、医療病棟化を検討しています。そのため看護師の増員を要求しています。在宅呼吸器のショートステイ受け入れや院内の重症化に対応できます。

城南分園は院長しかいません。医師の配置をしていただき、通所の非常勤看護師を、常勤看護師にしていれば利用者を増やせます。

3点目は在宅支援です。4月に医師・看護師ともかなり充足され感謝しています。さらに、人員を揃える事で、利用者の受け入れを増やすなど改善できると思っています。まず、医師・看護師です。

医師・看護師の増員で 利用者の受け入れを増やせる

準備する必要があると思います。特に、通所は重症度も高く、いきなり倍の定員では職員数がいてもたいへん危険を伴うと思います。利用者への影響を最優先にするには、現場の声を十分聞いて対応してほしいと思います。



9 / 7 昼休み宣伝行動

通所の定数に入っています。通所に必要な職種であり、利用者からの要望も大きいです。しかし、欠員だったり、掛け持ちだったりしているのが現状です。今後の配置方法について検討すべきと思っています。利用者の要望にこたえるための方策を検討して頂きたいと思います。

最後に、通所の訓練職員についてです。

定数に入っている訓練職員は欠員充足を

ぞい施設にとっては重要です。



保健所問題を訴える高橋副支部長

保健所に関する要求

副支部長 高橋貴志子

感染症対策の強化として 感染症対策係の保健 師及び事務職の増員

平成19年の感染症法改正に伴い感染症届出件数の増加、結核関係業務の増大などで、慢性的な超過勤務が行われています。特に新型インフルエンザなど集団感染が発生した場合は、相談の対応に加え、複数での積極的疫学調査、関係機関との対策会議、発生・拡大防止を目的にした衛生教育など、感染症に休日はなく、迅速かつ的確な判断と対応が求められます。

また、昨年度のエイズ発生動向は、全国及び東京とも検査・相談が大幅に減少しています。

国民の関心が新型インフル

エンザに移り、エイズへの関心が低くなった可能性があるときありますが、HIV感染者・AIDS患者数は過去3位となっていることから、普及啓発と検査・相談体制は重要になっており、保健所が果たす役割は大きいと思います。

新型インフルエンザの脅威もなくなったわけではありません。平常時の予防対策と危機管理時の体制を強化するためにも、全保健所の感染症対策係の保健師と保健対策係の事務職の増員をお願いします。

少数職種 的採用と増員を 計画

栄養士は昨年15年ぶりに1名の新規採用が行われました。今後数年のうちに経験豊富な栄養士が定年を迎えることから、ぜひとも計画的な採用をお願いします。

歯科衛生士は昭和60年を最後に採用がありません。

保健医療係に配属されている歯科衛生士は、歯科業務はもとより、複数の市町村支援、保健医療係の医療監視業務や患者の声窓口対応、各種申請事務など様々な対応をしています。

現在、歯科衛生士は各所に1名の定数ですが、これを各所2名体制とするようお願いします。併せて、保健医療係の人員体制の見直しを行い、体制の強化をお願いします。

診療放射線技師も6保健所に定数5名でその内2名は再任用です。保健所では障害者の受託健診を行っていますが、介助が必要な人も多く、複数体制での対応が原則になっています。複数体制での撮影業務や医療監視が可能となるよう、診療放射線技師の増員をお願いします。

医師の 欠員充足を 計画

保健所の医師の欠員も全国的に深刻になっています。西多摩保健所の感染症対策の医師及び各所の危機管理担当の医師は欠員のままです。

都立病院では医師確保のために給与等の改善を行っていますが、福祉保健局も是非とも思い切った対応を検討していただきたいと思っています。

庁有車の自動車 任意保険の加入 について

保健所には全部で約90台の庁有車が配備されています。超老朽車の新規更新は局の努力で整備されてきましたが、代行運転で事故が発生した場合は、保健所の職員が交渉を行うため、かなりの労力と時間、精神的負担が伴うなど問題になっています。

示談交渉は専門性の高い業務です。建設局や産業労働局はすでに加わっていると聞いています。主管部交渉では、局としての予算確保する方向と聞いていますので、是非進めていただきたいと思います。

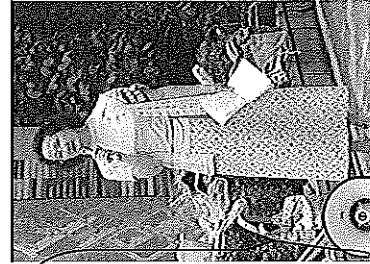
保健所の移転改 築について

主管部交渉では、西多摩保健所の移転改築については、青梅市役所の近くに土地を確保することがほぼ決まったと聞いています。

現在の保健所は、会議室も講堂も、駐車場も狭く、執務環境は劣悪です。移転改築に当たっては、広域化を担うにふさわしい施設・設備が可能となるように進めていただきたいと思っています。



2011年度予算・人員要求学習決起集会



職員・都民に訴える
森越支部長



東京革新懇「講演と音楽のつどい」

10月19日(火) 開場午後6時30分 なかのZERO大ホール
高遠菜穂子さんの講演と池辺晋一郎さんの合唱指揮
入場料 前売券1300円 当日券1500円(支部500円補助)

半券を支部にお持ちください。